

年間授業計画

杉並 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民科 科目 政治・経済

教 科： 公民科

科 目： 政治・経済

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（ 1 組・3 組・4 組・8 組：秋元 ）（2 組・5 組・6 組・7 組：伊藤）

使用教科書：（ 数研出版「政治・経済」 ）

教科 公民科

の目標：

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・日本国憲法と大日本帝国憲法の比較を通して、それぞれの特徴を理解する。 ・基本的人権の尊重について、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・議会制民主主義が、理念的には権力分立制の下、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを、現実社会の諸事象を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力】 ・現代日本の政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に学習に取り組む。	日本国憲法と基本的人権 ○日本の政治機構 ・1 国会のしくみと役割	【知識及び技能】 基本的人権の尊重について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法と基本的人権の尊重について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力】 基本的人権の学習を通して、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、主体的に学習に取り組む。	○	○	○	7
	定期考査						1
	【知識及び技能】 ・内閣と行政機構、裁判所と人権保障の在り方について、現実社会の諸事象を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行政府の役割が増大化したことなどを踏まえて、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方等について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力】 ・現代日本の政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に学習に取り組む。	○日本の政治機構 ・2 内閣と行政機構 ・3 裁判所のしくみと人権保障	【知識及び技能】 内閣と行政機構の在り方について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 行政府の役割が増大化したことなどを踏まえて、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方等について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力】 行政国家現象が見られるなかで、民意を反映した政治の実現のための諸課題について主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						1
	定期考査						1
2 学 期	【知識及び理解】 ・我が国の地方自治の政治制度では、直接民主制の考え方が国政よりもより多く取り入れられていること、また政党政治が議会制民主主義の運営上欠くことのできないものであることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・地方自治における直接請求権など、投票以外にも多様な政治参加の在り方があることについての理解を基に、生徒自らの主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力】 ・民主政治の基本原理と展開の学習を通して、現代日本の政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に取り組む。	・4 地方自治のしくみと住民生活 ○政治参加と民主政治の課題 ・1 戦後政治と政党	【知識及び技能】 地方自治について、地方自治が住民自らの意思と責任の下で行われるものであり、民主政治の基盤をなすものであることについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力】 地方自治における直接請求権など、投票以外にも多様な政治参加の在り方があることについての理解を基に、生徒自らの主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力】 日本の地方自治のあり方について、団体自治や住民自治の実現のために地方自治をめぐる諸課題について主体的に解決しようとしている。 【知識及び技能】 政党が同じ政治への人々の合意を得て政権を獲得しそれを実現しようとする団体であり、議会制民主主義の運営上欠くことのできないものであることについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 議会制民主主義の運営上欠くことのできないものであることについての理解を基に、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力】 現代日本の政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						1

	【知識及び技能】 - 選挙制度のしくみについて、選挙や国民投票など、国民の政治参加のための制度との関連について理解を深めるとともに、信頼できる情報源を見極めて、必要な情報とそうでない情報、信用できる情報とそうでない情報を選別するための合理的な基準を形成し、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 - 選挙制度の課題について、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について、政治的平等の原理の保障の観点から多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力】 - 政治参加と民主政治の課題の学習を通して、自らの学習状況を把握し、学習の進め方を調整しながら、主体的に学習に取り組む。	2 選挙制度のしくみ	【知識及び技能】 選挙制度のしくみについて、その背景として参政権が普通選挙制度の実現によって確立し、政治的平等の原理の保障に至ったという理解の基に、選挙や国民投票など、国民の政治参加のための制度との関連について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 選挙制度の課題について、政治的平等の原理の保障の観点から多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力】 政治参加と民主政治の課題の学習を通して、自らの学習状況を把握し、学習の進め方を調整しながら、主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	7
	【知識及び技能】 - 選挙制度の課題について、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について、政治的平等の原理の保障の観点から多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【思考力・判断力・表現力等】 - 政治参加と民主政治の課題の学習を通して、自らの学習状況を把握し、学習の進め方を調整しながら、主体的に学習に取り組む。	3 世論と情報化社会	【知識及び技能】 世論と情報化社会について、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を容易に活用できる現代社会において、信用できる情報とそうでない情報を選別するための合理的な基準を形成し、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 マスメディアなどが国民世論の形成に果たす役割が大きいこと、政治的無関心の広がりが見られることなどを踏まえ、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力】 現代日本の政治に関する諸課題の学習を通して、現代日本の政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しよう	○	○	○	8
	定期考査						1
3 学 期	【知識及び技能】 - 資本主義経済の発達と変容について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 - 資本主義経済の発達と変容について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力】 - 経済活動の意義と経済体制の学習を通して、現代日本の経済・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に取り組む。	○経済活動の意義と経済体制	【知識及び技能】 資本主義経済の発達と変容について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 資本主義経済の発達と変容について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力】 経済活動の意義と経済体制の学習を通して、現代日本の経済・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
							合計
							70